

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2004-146210(P2004-146210A)

【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2004-019

【出願番号】特願2002-310171(P2002-310171)

【国際特許分類第7版】

H O 1 R 11/01

// H O 1 B 5/16

【F I】

H O 1 R 11/01 5 0 1 G

H O 1 B 5/16

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月16日(2004.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】圧接型異方導電性エラスチックコネクタ

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

未加硫薄膜ゴムシートの上に電氣的絶縁被覆されているベリリウム銅線を平行かつ密接して配列し、

この状態で前記未加硫薄膜ゴムシートを硬化させ、硬化ゴムシートとし、

前記硬化ゴムシート上に配列された線状導電体の上に、さらに未加硫薄膜ゴムシートを貼り合せ、

前記貼り合わせたシートを複数枚積層してブロック状化し、

この状態で加熱加硫し、硬化シートとし、

前記硬化シートをスライス切断することにより、

シリコンゴムの厚み方向に、前記ベリリウム銅線が多数本直線状に規則正しく配列されており、

前記ベリリウム銅線の側面には、耐電圧1V/μm以上の電氣的絶縁皮膜が、厚み1μm以上に形成されており、

配列方向の前記ベリリウム銅線は隣接しており、

前記ベリリウム銅線のスライスされた端面表面には、腐食防止メッキが形成されていることを特徴とする圧接型異方導電性エラスチックコネクタ。

【請求項2】

前記線状導電体が、絶縁性エラスチック樹脂材料を貫通し、その厚みにほぼ等しい長さである請求項1に記載の圧接型異方導電性エラスチックコネクタ。

【請求項3】

前記腐食防止メッキが無電解メッキである請求項1または2に記載の圧接型異方導電性

エラスチックコネクタ。

【請求項 4】

前記腐食防止メッキが、前記無電解ニッケルメッキの上に金メッキをしたメッキである請求項 3 に記載の圧接型異方導電性エラスチックコネクタ。

【請求項 5】

前記線状導電体の配列密度が、導通電流容量に応じて異なっている請求項 1 に記載の圧接型異方導電性エラスチックコネクタ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、本発明の圧接型異方導電性エラスチックコネクタは、未加硫薄膜ゴムシートの上に電氣的絶縁被覆されているベリリウム銅線を平行かつ密接して配列し、この状態で前記未加硫薄膜ゴムシートを硬化させ、硬化ゴムシートとし、前記硬化ゴムシート上に配列された線状導電体の上に、さらに未加硫薄膜ゴムシートを貼り合せ、前記貼り合わせたシートを複数枚積層してブロック状化し、この状態で加熱加硫し、硬化シートとし、前記硬化シートをスライス切断することにより、シリコンゴムの厚み方向に、前記ベリリウム銅線が多数本直線状に規則正しく配列されており、前記ベリリウム銅線の側面には、耐電圧 $1\text{ V} / \mu\text{m}$ 以上の電氣的絶縁皮膜が、厚み $1\text{ }\mu\text{m}$ 以上に形成されており、配列方向の前記ベリリウム銅線は隣接しており、前記ベリリウム銅線のスライスされた端面表面には、腐食防止メッキが形成されていることを特徴とする。